



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2017年2月27日
公立大学法人大阪市立大学

平成29年度 公立大学法人大阪市立大学 役員・副学長等・研究院長・研究科長・ 学部長・病院長(予定者)が決定しました

公立大学法人大阪市立大学の平成29年度の役員・副学長等・研究院長・研究科長・学部長・病院長について、次のとおり決定しましたので発表いたします。

(1) 平成29年度 役員等

役職	氏名	任期
理事長兼学長	あらかわ てつお 荒川 哲男 (医学博士)	平成28年4月1日～ 平成32年3月31日
副理事長	きょうごく つとむ 京 極 務 (前 大阪市副市長)	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日
理事兼副学長	いのうえ とおる 井上 徹 (文学博士)	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日
理事兼副学長	さくらぎ ひろゆき 櫻木 弘之 (理学博士)	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日
理事兼病院長	ひらかわ こうせい 平川 弘聖 (医学博士)	平成29年1月1日～ 平成30年3月31日
理事 (非常勤)	くらもち はるお 倉持 治夫 (大同生命保険株式会社 顧問)	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日
理事 (非常勤)	しらい ひろし 白井 弘 (公認会計士)	平成28年4月1日～ 平成30年3月31日
監事 (非常勤)	たなか いちろう 田中 一郎 (弁護士)	平成28年1月1日～ 平成29年12月31日

※監事については市長任命

(2) 平成 29 年度 副学長等について

役 職	氏 名	任 期
副学長 (教育・学生担当)	いのうえ とおる 井上 徹	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
副学長 (研究・国際交流・情報担当)	さくらぎ ひろゆき 櫻木 弘之	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
副学長 (男女共同参画担当)	いけがみ ともこ 池上 知子	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
特命副学長 (社会人大学院担当)	きりやま たかのぶ 桐山 孝信	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
特命副学長 (人事委員会担当)	ほ ぞん たかゆき 保尊 隆享	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
特命副学長 (教育改革担当)	はしもと ふみひこ 橋本 文彦	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
学長補佐 (地域貢献・産学官連携・ 知的財産担当)	みやの みちお 宮野 道雄	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日

(3) 平成 29 年度 担当部長等について

役 職	氏 名	任 期
教務担当部長	いけがみ ともこ 池上 知子	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
学生担当部長	とみざわ おさみ 富澤 修身	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
入試担当部長	みたむら むねき 三田村 宗樹	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
学術情報総合センター所長	やまざき たかし 山崎 孝史	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日

(4) 平成 29 年度 研究院長・研究科長・学部長及び医学部附属病院長について

(研究院長)

役 職	氏 名	任 期	備 考
高等教育研究院長	いとうえ とおる 井上 徹 (副学長)	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
社会科学系研究院長	ふくはら ひろゆき 福原 宏幸	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
法学研究院長	かつた たくや 勝田 卓也	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
文学研究院長	にき ひろし 仁木 宏	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
理学研究院長	なかざわ ひろし 中沢 浩	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	再 任
工学研究院長	さとう よしひろ 佐藤 嘉洋	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
医学研究院長	おおはた けんじ 大畑 建治	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
看護学研究院長	まつだ みつのが 松田 光信	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
生活科学研究院長	えむら かずお 永村 一雄	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
先端研究院長	さくらぎ ひろゆき 櫻木 弘之 (副学長)	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中

(研究科長・学部長)

役 職	氏 名	任 期	備 考
経営学研究科長 商学部長	むこやま あつお 向山 敦夫	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
経済学研究科長 経済学部長	なかむら けんご 中村 健吾	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
法学研究科長 法学部長	かつた たくや 勝田 卓也	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
文学研究科長 文学部長	にき ひろし 仁木 宏	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 3 日	新 任
理学研究科長 理学部長	なかざわ ひろし 中沢 浩	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	再 任
工学研究科長 工学部長	さと う よしひろ 佐藤 嘉洋	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
医学研究科長 医学部長	おおはた けんじ 大畑 建治	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
看護学研究科長	まつだ みつお 松田 光信	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	新 任
生活科学研究科長 生活科学部長	えむら かずお 永村 一雄	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中
創造都市研究科長	あるが としゆき 有賀 敏之	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中

(医学部附属病院長)

役 職	氏 名	任 期	備 考
医学部附属病院長	ひらかわ こうせい 平川 弘聖	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	任期中

【本件に関する問い合わせ先】

公立大学法人大阪市立大学 法人運営本部総務課
担当：肥田・福谷 TEL：06-6605-2005

大阪市立大学副学長 略歴

- 1 氏 名 井上 徹 (いのうえ とおる)
- 2 年 齢 63 歳
- 3 専門分野 東洋史学
- 4 任 期 2年間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (歴史学) (名古屋大学)
- 6 最終学歴 名古屋大学大学院文学研究科 後期博士課程 単位取得退学
- 7 職 歴 昭和 63 年 10 月 弘前大学人文学部 講師
平成 2 年 1 月 弘前大学人文学部 助教授
平成 10 年 7 月 弘前大学人文学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学文学部・大学院文学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 教授
平成 23 年 4 月
～平成 25 年 3 月 大阪市立大学文学研究科長
平成 25 年 4 月
～平成 26 年 3 月 大阪市立大学 学長特別補佐
平成 26 年 4 月
～平成 27 年 3 月 大阪市立大学 副学長兼教務担当部長
平成 27 年 4 月～ 公立大学法人大阪市立大学 理事兼副学長
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (単著) 『中国の宗族と国家の礼制—宗法主義の視点からの分析—』 (研文出版、
2000 年 2 月)
著書 (共編著) 『宋—明宗族の研究』 (汲古書院、2002 年 3 月)
著書 (共著) 『中日学者論中国古代城市』 (三秦出版社、2007 年 5 月)
著書 (編著) 『海域交流と政治権力の対応』 (汲古書院、2011 年 2 月)
著書 (共編著) 『東アジアの都市構造と集団性—伝統都市から近代都市へ—』 (清文堂出版、
2016 年 3 月)
論文 (単著) 「中国近世の都市と礼の威力」 (『年報都市史研究』 15、山川出版社、
2007 年 12 月)

- 論文（単著） 「都市文化の伝統とグローバリズム」（『都市文化理論の構築に向けて』、清文堂出版、2007年3月）
- 論文（単著） 「「華」はどのように「夷」を包摂したか？」（『歴史評論』733、2011年5月）
- 論文（単著） 「明末の商税徴収と広東社会」（『年報都市史研究』19、2012年3月）
- 論文（単著） 「明朝の州県管理—広東羅定直隸州の創設—」（『東洋学報』96-3、2014年12月）

大阪市立大学副学長 略歴

- 1 氏 名 櫻木 弘之 (さくらぎ ひろゆき)
- 2 年 齢 59 歳
- 3 専門分野 原子核物理学
- 4 任 期 2年間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (理学) (九州大学)
- 6 最終学歴 九州大学大学院理学研究科 物理学専攻 博士後期課程修了
- 7 職 歴 昭和 60 年 4 月 東京大学原子核研究所 研究員
昭和 61 年 4 月 日本学術振興会特別研究員 (東京大学)
昭和 62 年 4 月 大阪市立大学理学部 助手
平成 2 年 4 月 大阪市立大学理学部 講師
平成 6 年 4 月 大阪市立大学理学部 助教授
平成 11 年 4 月 大阪市立大学理学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学理学部・大学院理学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学院理学研究科・理学部 教授
平成 22 年 4 月
～平成 25 年 3 月 大阪市立大学大学院理学研究科長・理学部長
平成 25 年 4 月
～平成 28 年 3 月 大阪市立大学 特命副学長
平成 28 年 4 月～ 公立大学法人大阪市立大学 理事兼副学長
現在に至る
- 8 主な業績等 (著書・学術論文)
著書 (共著) “Nucleon Hadron Many Body Systems”, Oxford University Press, 1999
論文 (単著) “Saturation of nuclear matter and roles of many-body forces: nuclear matter in neutron stars probed by nucleus-nucleus scattering”, Progress of Theoretical and Experimental Physics, 06A106 (25 pages), 2016
論文 (共著) “Medium effect in high-density nuclear matter probed by a systematic analysis of nucleus-nucleus elastic scattering”, Physical Review C, Vol.94, 044620 (10 pages), (2016)
論文 (共著) “Effects of repulsive three-body force in $^{12}\text{C} + ^{12}\text{C}$ scattering at 100A MeV”, Physics Letters B, Vol.751, 1-6, 2015.
論文 (共著) “Repulsive nature of optical potentials for high-energy heavy-ion Scattering”, Physical Review C, Vol.82, 044612 (14 pages), 2010.
論文 (共著) “New complex G-matrix interactions derived from two- and three-body forces and application to proton-nucleus elastic scattering”, Physical Review C, Vol.78, 044610 (12 pages), 2008.
論文 (単著) “Heavy-Ion Resonance and Multi-Cluster Structure of Nuclei”, Progress of Theoretical

- Physics Supplement, Vol.140, 51-67, 2000.
- 論文 (共著) “ $3\alpha+3\alpha$ and $3\alpha+^{12}\text{C}$ configurations in ^{24}Mg ”, Physical Review Letters, Vol.74, 4141-4144, 1995.
- 論文 (共著) “Evidence for Strong Nuclear-Breakup Contribution to $^6\text{Li}\rightarrow \alpha+d$ Breakup by ^{208}Pb at Forward Angles”, Physical Review Letters, Vol.69, 1892-1895, 1992.
- 論文 (单著) “Energy and target dependence of projectile breakup effect in elastic scattering of ^6Li ”, Physical Review C, Vol.35, 2161-2174, 1987.
- 論文 (共著) “Microscopic coupled-channels study of scattering and breakup of light heavy-ions”, Progress of Theoretical Physics Supplement, Vol 89, 136-211, 1986.

大阪市立大学副学長 略歴

- 1 氏 名 池上 知子 (いけがみ ともこ)
- 2 年 齢 61 歳
- 3 専門分野 社会心理学
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (教育学) (京都大学)
- 6 最終学歴 京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程 学修認定退学
- 7 職 歴 昭和 61 年 4 月 愛知県立芸術大学音楽学部 専任講師
平成元年 4 月 愛知教育大学教育学部 講師
平成 3 年 1 月 愛知教育大学教育学部 助教授
平成 14 年 4 月 愛知教育大学教育学部 教授
平成 17 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科 教授
平成 23 年 4 月
～平成 25 年 3 月 大阪市立大学大学院文学研究科副研究科長・文学部副学部長
平成 25 年 4 月
～平成 27 年 3 月 大阪市立大学大学院文学研究科長・文学部長
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (単著) 『対人認知の心的機構 - ポスト認知モデルへの提言 -』 風間書房 1996 年
著書 (共著) 『社会的認知の心理学 - 社会を描く心のはたらき -』 ナカニシヤ出版 2001 年
著書 (共著) 『グラフィック社会心理学 第 2 版』 サイエンス社 2008 年
著書 (単著) 『格差と序列の心理学 - 平等主義のパラドクス -』 ミネルヴァ書房 2012 年
論文 (単著) “State self-esteem as a moderator of negative mood effects on person impression.” *Journal of Experimental Social Psychology*, 38, 1-13. 2002 年
論文 (共著) “Status hierarchy and the role of disidentification in discriminatory perception of outgroups.” *Japanese Psychological Research*, 49, 136-147. 2007 年
論文 (単著) “Precursors and consequences of ingroup disidentification: Status system beliefs and social identity. *Identity: An international Journal of Theory and Research*, 10, 233-253. 2010 年
論文 (単著) 差別・偏見研究の変遷と新たな展開 - 悲観論から楽観論へ - 教育心理学年報 53 集 133-146 頁 2014 年
論文 (共著) “Fear of negative evaluation moderates effects of social exclusion on selective attention to social signs.” *Cognition and Emotion*, 29, 1306-1313. 2015 年
論文 (単著) 社会的アイデンティティ 児童心理学の進歩 vol. 55 149-172 頁 2016 年

大阪市立大学特命副学長 略歴

- 1 氏 名 桐山 孝信 (きりやま たかのぶ)
- 2 年 齢 59 歳
- 3 専門分野 国際組織法
- 4 任 期 1 年間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (法学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 京都大学大学院法学研究科 博士課程 単位修得退学
- 7 職 歴 昭和 61 年 4 月 京都大学法学部 助手
平成 元年 4 月 神戸市外国語大学外国語学部 助教授
平成 5 年 4 月 大阪市立大学法学部 助教授
平成 11 年 4 月 大阪市立大学法学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学法学部・大学院法学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院法学研究科・法学部 教授
平成 16 年 4 月
～平成 18 年 3 月 大阪市立大学学生部長
平成 19 年 4 月
～平成 20 年 3 月 大阪市立大学大学院法学研究科長・法学部長
平成 22 年 4 月
～平成 27 年 3 月 公立大学法人大阪市立大学理事兼副学長
平成 27 年 4 月
～平成 28 年 3 月 大阪市立大学副学長
平成 28 年 4 月～ 大阪市立大学特命副学長
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (共著) 『国際関係(全訂版)』(世界思想社、2014 年)
著書 (共編著) 『国際機構(第 4 版)』(世界思想社、2009 年)
著書 (単著) 『民主主義の国際法』(有斐閣、2001 年)
論文 (単著) 「先住民族の伝統的知識と知的財産権」松井芳郎ほか編『21 世紀の国際法と海洋法の課題』(東信堂、2016 年)
論文 (単著) 「恒藤恭の平和主義と安全保障・憲法」大阪市立大学史紀要第 7 号 2014 : pp. 49-60
論文 (単著) 「国際法秩序における民主主義の機能」国際法外交雑誌 107 巻 4 号 : pp1-18.
論文 (単著) 「人間の安全保障と世界銀行」大久保史郎編『グローバル化と人間の安全保障』2007. 7. : pp. 176-196.

大阪市立大学特命副学長 略歴

- 1 氏 名 保尊 隆享 (ほそん たかゆき)
- 2 年 齢 62 歳
- 3 専門分野 植物生理学
- 4 任 期 1 年間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (理学) (東北大学)
- 6 最終学歴 東北大学大学院理学研究科 博士前期課程修了
- 7 職 歴 昭和 55 年 10 月 大阪教育大学教育学部 助手
昭和 60 年 10 月 大阪市立大学理学部 助手
平成 5 年 4 月 大阪市立大学理学部 助教授
平成 12 年 10 月 大阪市立大学理学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学理学部・大学院理学研究科教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科・理学部教授
平成 21 年 10 月
～平成 22 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 22 年 4 月
～平成 25 年 3 月 大阪市立大学大学院理学研究科副研究科長・理学部副学部長
平成 25 年 4 月
～平成 27 年 3 月 大阪市立大学大学院理学研究科長・理学部長
平成 27 年 4 月
～平成 28 年 3 月 大阪市立大学理学研究院長、大学院理学研究科長・理学部長
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (共著) 『Plant Gravitropism: Methods and Protocols』 Methods Mol. Biol. Ser., 2015.
著書 (共著) 『Cellulose: Structure and Properties, Derivatives and Industrial Uses』 Nova Science Publishers, 2010.
著書 (共著) 『植物ホルモンの分子細胞生物学』 講談社, 2006
著書 (共著) 『新版植物ホルモンのシグナル伝達ー生理機能からクロストークへ』 秀潤社, 2004.
著書 (共著) 『新訂 植物の生理』 放送大学教育振興会, 2004.
論文 (共著) 『Phenotypic screening of Arabidopsis T-DNA insertion lines for cell wall mechanical properties revealed ANTHOCYANINLESS2, a cell wall-related gene』 J. Plant Physiol. 191: 29-35, 2016.
論文 (共著) 『Role of the plant cell wall in gravity resistance』 Phytochemistry 112: 84-90, 2015.
論文 (単著) 『Plant growth and morphogenesis under different gravity conditions: Relevance to plant life in space』 Life 4: 205-216, 2014.

大阪市立大学特命副学長 略歴

- 1 氏 名 橋本 文彦 (はしもと ふみひこ)
- 2 年 齢 53 歳
- 3 専門分野 行動情報論
- 4 任 期 1 年間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (経済学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 大阪市立大学大学院文学研究科 前期博士課程修了
- 7 職 歴 平成 3 年 4 月
～平成 6 年 3 月 コンピュータ総合学園 HAL 専任講師
平成 7 年 4 月 大阪市立大学経済学部 助手
平成 9 年 4 月 大阪市立大学経済学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学経済学部・大学院経済学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院経済学研究科・経済学部 助教授
平成 19 年 4 月 大阪市立大学大学院経済学研究科 教授

平成 22 年 4 月
～平成 23 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 27 年 4 月～ 大阪市立大学 教務担当部長
現在に至る
- 8 主な業績等
論文 (単著) 『機械は心もちうるのか?』 心理学評論 Vol. 37, No. 4, 533-553, 1995
論文 (共著) “A Report of U-Mart Experiments by Human Agents”, Gaming, Simulations and Society, 49-57, Springer, 2004
論文 (単著) 『機械の身体と人間の身体, 機械の心と人間の心』 思索 Vol. 45, 207-232, 2012
論文 (単著) “Interference on memory between olfactory stimulus and visual stimulus with time-interval”, Perception, Vol. 42 (Supp.), 166, 2013
著書 (単著) 『C 言語のパラドックス』 (上下巻) モード学園出版局 1995
著書 (分担執筆) 『脳科学における身体と環境の位置づけ ―理論と実証による相補的モデルの構築―』 中山科学振興財団活動報告書 29-38, 2006
著書 (分担執筆) “Artificial Market Experiments with the U-Mart System”, Springer, 2008 (第 5 章を担当)

大阪市立大学学長補佐 略歴

- 1 氏 名 宮野 道雄 (みやの みちお)
- 2 年 齢 67 歳
- 3 専門分野 居住安全人間工学
- 4 任 期 2年間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (工学) (東京都立大学)
- 6 最終学歴 東京都立大学大学院工学研究科 博士課程 単位取得満期退学
- 7 職 歴 昭和 58 年 4 月 東京工科専門学校建築科 専任講師
昭和 60 年 10 月 大阪市立大学生活科学部 講師
平成元年 4 月 大阪市立大学生活科学部 助教授
平成 9 年 4 月 大阪市立大学生活科学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授
平成 18 年 4 月
～平成 20 年 3 月 大阪市立大学大学院生活科学研究科研究科長・生活科学部長
平成 22 年 4 月
～平成 28 年 3 月 公立大学法人大阪市立大学理事兼副学長
平成 28 年 4 月～ 大阪市立大学学長補佐
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (共著) 『東日本大震災 石巻市における復興への足取り-家政学の視点で生活復興を見守って-』 (建帛社、2016)
著書 (共著) “Human Casualties in Natural Disasters” (Springer, 2011)
著書 (共著) 『長周期地震動と建築物の耐震性』 (日本建築学会、2007 年)
著書 (共著) 『住まいの事典』 (朝倉書店、2004 年)
著書 (共著) 『防災事典』 (築地書館、2002 年)
著書 (共著) 『阪神大震災-はや 5 年まだ 5 年-』 (学芸出版社、2000 年)

大阪市立大学学生担当部長 略歴

- 1 氏 名 富澤 修身 (とみざわ おさみ)
- 2 年 齢 63 歳
- 3 専門分野 工業論
- 4 任 期 2年間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (経済学) (東北大学)
- 6 最終学歴 東北大学大学院経済学研究科 博士後期課程 単位取得退学
- 7 職 歴 昭和 59 年 4 月 東北大学経済学部 助手
昭和 60 年 4 月 大阪市立大学商学部 講師
昭和 63 年 10 月 大阪市立大学商学部 助教授
平成 5 年 4 月 大阪市立大学商学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学商学部・大学院経営学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院経営学研究科・商学部 教授
平成 16 年 4 月
～平成 18 年 3 月 大阪市立大学大学院経営学研究科長・商学部長
平成 24 年 4 月～ 大阪市立大学 学生担当部長
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (単著) 『アメリカ南部の工業化』(創風社、平成 3 年)
著書 (単著) 『構造調整の産業分析』(創風社、平成 10 年)
著書 (単著) 『ファッション産業論』(創風社、平成 15 年)
著書 (単著) 『模倣と創造のファッション産業史』(ミネルヴァ書房、平成 25 年)

大阪市立大学入試担当部長 略歴

- 1 氏 名 三田村 宗樹 (みたむら むねき)
- 2 年 齢 58 歳
- 3 専門分野 第四紀地質学・都市地質学
- 4 任 期 2年間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (理学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 大阪市立大学大学院理学研究科 地質学専攻 後期博士課程修了
- 7 職 歴 昭和 58 年 4 月 川崎地質株式会社 技術職
昭和 60 年 10 月 大阪市立大学理学部 助手
平成 5 年 10 月 大阪市立大学理学部 講師
平成 9 年 10 月 大阪市立大学理学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学理学部・大学院理学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科・理学部 助教授
平成 19 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科 准教授
平成 22 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科 教授
平成 26 年 4 月～ 大阪市立大学入試担当部長
現在に至る
- 8 主な業績等
著書 (共著) 『人類紀自然学』 (共立出版、2007 年)
著書 (共著) 『日本地方地質誌 近畿地方』 (朝倉書店、2009 年)
著書 (共著) 『都市の水資源と地下水の未来』 (京都大学学術出版会、2011 年)
著書 (共著) 『いのちを守る都市づくり [課題編]』 (大阪公立大学出版協会、2012 年)
著書 (共著) 『いのちを守る都市づくり [アクション編]』 (大阪公立大学出版協会、2013 年)
著書 (共著) 『地形の事典』 (朝倉書店、2017 年)
論文 (共著) 「平成 23 年紀伊半島大水害の実態と教訓：「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言(3)奈良地域の災害の実態」 (土と基礎、2016 年)
論文 (共著) 「Observations on Seismically Induced Liquefaction - Fluidization in Reclaimed Land at Hinode, Honshu, Japan.」 Episodes (Jour. Int. Geoscience.), 2016.

大阪市立大学学術情報総合センター所長 略歴

- 1 氏 名 山崎 孝史 (やまざき たかし)
- 2 年 齢 55 歳
- 3 専 攻 政治地理学、沖縄研究
- 4 任 期 2年間 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 Ph.D. (University of Colorado, Boulder)
- 6 最終学歴 米国コロラド大学 地理学部 博士課程修了
- 7 職 歴 平成 2 年 6 月 京都大学文学部 助手
平成 6 年 4 月 山口県立大学国際文化学部講師から助教授
平成 10 年 8 月 フルブライト奨学生(大学院研究)
平成 13 年 10 月 大阪市立大学文学部・大学院文学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 助教授
平成 20 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科 教授
平成 22 年 4 月
～平成 27 年 3 月 学術情報総合センター副所長
平成 27 年 4 月～ 学術情報総合センター所長
現在に至る
- 8 主な業績等
論文 (単著) 「リスケーリングの政治としての「大阪都構想」 佐藤正志・前田洋介編『ローカル・ガバナンスと地域』ミネルヴァ書房、2017 年 3 月 (刊行予定)
論文 (単著) 「選挙からみる複数の「沖縄」—民意はどこで示されたのか?」SYNODOS—シノドス
<http://synodos.jp/politics/18689>、2016 年 12 月
論文 (単著) 「境界、領域、「領土の畏」—概念の理解のために」地理 61-6、pp. 88-96、2016 年 6 月
論文 (単著) 「地政言説から政治を読む」竹中克行編『人文地理学への招待』ミネルヴァ書房、pp. 123-142、2015 年 4 月
論文 (単著) 「国家の「中心」と「周辺」—政党対立からみた沖縄の分断」α-SYNODOS 162/163、2014 年 12 月
論文 (単著) 「政治地理学から見た領土論の畏」岩下明裕編著『領土という病—国境ナショナリズムへの処方箋』北海道大学出版会、pp. 7-26、2014 年 7 月
論文 (単著) 「軍民境界都市としてのコザ—暴動の記憶とアイデンティティ」谷富夫・安藤由美・野入直美編著『持続と変容の沖縄—沖縄なるものの現在』ミネルヴァ書房、pp. 218-242、2014 年 5 月
論文 (単著) 「学術知識の流通とオープンアクセスジャーナルの役割」情報学 10-1、pp. 45-66、2013 年 5 月
論文 (共著) 「Reemerging political geography in Japan」*Japanese Journal of Human Geography* 64-6、pp. 72-94、2012 年 12 月
論文 (単著) 「スケール／リスケーリングの地理学と日本における実証研究の可能性」地域社会学会年報 24 号『リスケーリング下の国家と地域社会』、pp. 55-71、2012 年 5 月
論文 (単著) 「知事・市長意見交換会の言説分析からみた大阪都構想」市政研究 173、pp. 84-94、2011 年 10 月
著書 (単著) 『政治・空間・場所—「政治の地理学」にむけて [改訂版]』(ナカニシヤ出版、2013 年 10 月)
他 38 編

大阪市立大学社会科学系研究院長 略歴

- 1 氏 名 福原 宏幸 (ふくはら ひろゆき)
- 2 年 齢 62 歳
- 3 専門分野 労働経済論
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (経済学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 大阪市立大学大学院経済学研究科 後期博士課程単位取得退学
- 7 職 歴 昭和 61 年 4 月 大阪市立大学 非常勤講師
昭和 61 年 4 月 三重短期大学 非常勤講師
昭和 62 年 4 月 龍谷大学 非常勤講師
昭和 63 年 4 月 日本学術振興会 特別研究員
昭和 63 年 4 月 甲南大学 非常勤講師
平成 2 年 4 月 花園大学 非常勤講師
平成 2 年 8 月 大阪市政調査会 主任研究員常勤嘱託
平成 3 年 10 月 大阪市立大学経済学部 講師
平成 4 年 10 月 大阪市立大学経済学部 助教授
平成 12 年 4 月 大阪市立大学経済学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学経済学部・大学院経済学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院経済学研究科・経済学部 教授
平成 21 年 4 月
～平成 22 年 3 月 大阪市立大学大学院経済学研究科副研究科長・
経済学部副学部長
平成 27 年 4 月～大阪市立大学社会科学系研究院大学院経済学
研究科長・経済学部長
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (分担執筆) 『自治体セーフティネットー地域と自治体ができること』公人社、
2014 年
著書 (分担執筆) 『社会福祉学のフロンティア』有斐閣、2014 年
著書 (分担執筆) 『脱・貧困のまちづくりー「西成特区構想」の挑戦』明石書店、2013 年
著書 (共編著) 『21 世紀ヨーロッパ福祉レジームーアクティベーション改革の多様性と
日本』糺の森書房、2012 年
著書 (編著) 『社会的排除／包摂と社会政策』法律文化社、2007 年
論文 (単著) 「フランスにおける生活困窮者問題と中間的就労」、協同総総合研究所
『厚生労働省 平成 25 年度セーフティネット支援対策等事業費補助金
社会福祉推進事業 「社会的事業体が取り組む就労準備事業から持続性

- のある中間的就労創出に向けた制度・支援に関する調査研究」報告書』
(調査検討委員会委員長：福原宏幸)、2014年
- 論文 (単著) 「大阪における2つの健康格差調査—同和地区調査と大阪市民調査」、
厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(政策科学推進事業)
『貧困層の健康と社会的排除についての実態調査と地域の社会医療のあり方
について』平成23年度総括研究報告書(研究代表：福原宏幸)、2013年
- 論文 (単著) 「日本社会の再生—社会的つながりと社会的連帯経済、そして社会福祉
学の役割」『Human Welfare』(関西学院大学人間福祉学部紀要)第5
巻1号、2013年
- 論文 (単著) 「生活困窮者自立支援制度の支援フレームワークとその課題」『協同組
合研究誌にじ』642号、2013年
- 論文 (共著) “Geographically-based discrimination is a social determinant of
mental health in a deprived or stigmatized area in Japan: A cross-
sectional study”, *Social Science & Medicine*, 75-6, 2012.
- 論文 (単著) 「社会的排除／包摂と社会連帯経済—社会的承認論からのアプローチ—」
『福祉労働』137号、2012年
- 論文 (単著) 「ワーキングプアに対する社会的排除の諸相—雇用・生活実態から雇
用・福祉レジームを検討する」『大分大学経済学論集』第63巻第4
号、2011年

大阪市立大学法学研究院長、大学院法学研究科長・法学部長 略歴

- 1 氏 名 勝田 卓也 (かつた たくや)
- 2 年 齢 47 歳
- 3 専門分野 英米法
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 修士 (法学) (早稲田大学)
- 6 最終学歴 早稲田大学大学院法学研究科 修士課程修了
- 7 職 歴 平成 9 年 4 月 早稲田大学法学部 助手
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院法学研究科・法学部 助教授
平成 19 年 4 月 大阪市立大学大学院法学研究科・法学部 准教授
平成 24 年 4 月 大阪市立大学大学院法学研究科・法学部 教授
平成 27 年 4 月
～平成 28 年 3 月 大阪市立大学大学院法学研究科副研究科長・
法学部副学部長
平成 27 年 4 月
～平成 28 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (単著) 『アメリカ南部の法と連邦最高裁』有斐閣 (2011)
著書 (単著) 「起訴されない警官：大陪審への関心」アメリカ法 (2015)
著書 (単著) 「少年の死刑と国際基準」大沢秀介・大林啓吾 (編) 『アメリカ憲法の物語』成文堂 (2014)
著書 (単著) 「マーベリ判決の神話」法学新報 119 巻 9・10 号 (2013)
著書 (単著) Takuya Katsuta, Brown and Roper: The American South and the Supreme Court, Connecticut Journal of International Law, vol. 27, no. 1 (2011)
著書 (単著) Takuya Katsuta, Japan's Rejection of the American Criminal Jury, 58 American Journal of Comparative Law, vol. 58, no. 3 (2010) (reprinted in The Japanese Legal System: Cases, Codes, and Commentary (Curtis J. Milhaupt, J. Mark Ramseyer & Mark D. West eds., 2nd ed. 2012))
著書 (単著) 「死刑をめぐる憲法判断における外国法参照の意義: Roper v. Simmons 事件判決 (2005) を手掛かりとして」比較法研究 71 巻 (2010)
著書 (単著) 「アメリカ陪審制度研究についての一考察 (1～2・完): 裁判員制度の導入をめぐる」法学雑誌 (大阪市大) 54 巻 4 号、55 巻 2 号 (2008)

大阪市立大学文学研究院長、大学院文学研究科長・文学部長 略歴

- 1 氏 名 仁木 宏 (にき ひろし)
- 2 年 齢 54 歳
- 3 専門分野 日本中世史
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (文学) (京都大学)
- 6 最終学歴 京都大学大学院文学研究科 博士後期課程退学
- 7 職 歴 平成 2 年 4 月 日本学術振興会 特別研究員
平成 2 年 6 月 京都大学文学部 助手
平成 6 年 4 月 園田学園女子大学国際文化学部 講師
平成 8 年 4 月 大阪市立大学文学部 講師
平成 10 年 4 月 大阪市立大学文学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学文学部・大学院文学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 助教授
平成 19 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 准教授
平成 21 年 4 月 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 教授
平成 25 年 4 月
～平成 27 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 27 年 4 月～ 大阪市立大学大学院文学研究科副研究科長・
文学部副学部長
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (単著) 『空間・公・共同体 ―中世都市から近世都市へ―』 青木書店、1997 年
著書 (共著) 『堺の歴史 ―都市自治の源流―』 角川書店、1999 年
著書 (単著) 『戦国時代、村と町のかたち』 山川出版社、2004 年
著書 (共編著) 『難波宮から大坂へ』 和泉書院、2006 年
著書 (共編著) 『信長の城下町』 高志書院、2008 年
著書 (単著) 『京都の都市共同体と権力』 思文閣出版、2010 年
著書 (共編著) 『近畿の名城を歩く』 大阪・兵庫・和歌山編、吉川弘文館、2015 年
著書 (共同監修) 『秀吉と大坂 ―城と城下町―』 和泉書院、2015 年
著書 (共編) 『東アジアの都市構造と集団性 (伝統都市から近代都市へ)』 清文堂出版、2016 年
著書 (編著) 『日本古代・中世都市論』 吉川弘文館、2016 年
論文 (単著) ‘The city of Osaka in the medieval period : Religion and the transportation of goods in the Uemachi Plateau’ ,
City, Culture and Society 3-1, ELSEVIER, 2012

大阪市立大学理学研究院長、大学院理学研究科長・理学部長 略歴

- 1 氏 名 中沢 浩 (なかざわ ひろし)
- 2 年 齢 64 歳
- 3 専門分野 錯体化学、有機金属化学
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (理学) (広島大学)
- 6 最終学歴 広島大学大学院理学研究科 博士課程修了
- 7 職 歴 昭和 56 年 4 月 東京工業大学資源化学研究所 研究補助員
昭和 57 年 7 月 アメリカ合衆国ユタ大学 博士研究員
昭和 59 年 4 月 広島大学理学部 助手
平成 2 年 1 月 広島大学理学部 助教授
平成 6 年 4 月 岡崎国立共同研究機構分子科学研究所 助教授
平成 8 年 4 月 広島大学理学部 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科・理学部 教授
平成 26 年 4 月
～平成 27 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 27 年 4 月 大阪市立大学大学院理学研究科副研究科長・
理学部副学部長
平成 28 年 4 月～ 大阪市立大学理学研究院長、大学院理学研究
科長・理学部長
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (共著) 『無機化学演習』東京化学同人、発行年 (2012 年)
著書 (共著) 『有機金属化学』三共出版、発行年 (2014 年)
著書 (監修) 『高校生・化学宣言 PART1～9』遊タイム出版、発行年 (2008～2016 年)
著書 (共著) 『Iron-Catalyzed Cross-Dehydrogenative-Coupling Reactions』Springer,
発行年 (2015 年)
論文 (共著) 「Selective Dehydrogenative Silylation-Hydrogenation Reaction of
Divinyldisiloxane with Hydrosilane Catalyzed by an Iron Complex」*J. Am. Chem. Soc.*, 2012.
論文 (共著) 「Regioselective Double Hydrophosphination of Terminal Arylacetylenes
Catalyzed by an Iron Complex」*J. Am. Chem. Soc.*, 2012.
論文 (共著) 「Selective Boryl Silyl Ether Formation in the Photoreaction of
Bisboryloxide/Boroxine with Hydrosilane Catalyzed by a Transition-
Metal Carbonyl Complex」*J. Am. Chem. Soc.*, 2014.

大阪市立大学工学研究院長、大学院工学研究科長・工学部長 略歴

- 1 氏 名 佐藤 嘉洋 (さとう よしひろ)
- 2 年 齢 62 歳
- 3 専門分野 機械工学 生産加工工学分野
- 4 任 期 2 年間 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (工学) (東北大学)
- 6 最終学歴 東北大学大学院工学研究科 博士課程修了
- 7 職 歴 昭和 59 年 4 月 東北大学工学部 助手
平成 8 年 4 月 東北大学工学部 助教授
平成 9 年 4 月 東北大学大学院工学研究科 助教授
平成 11 年 4 月 大阪市立大学工学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学工学部・大学院工学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院工学研究科・工学部 教授
平成 24 年 4 月 大阪市立大学大学院工学研究科副研究科長・副学部長
平成 24 年 4 月 工作技術センター所長
平成 28 年 4 月～大阪市立大学工学研究院長、大学院工学研究科長・工学部長
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (分担執筆) 『新版 鉄鋼材料と合金元素』一般社団法人日本鉄鋼協会、(2015)
著書 (分担執筆) 『新版 溶接・接合部組織写真集』黒木出版、(2013)
著書 (分担執筆) 『バイオフィルムおよび微生物が材料に及ぼす影響』
(社)日本鉄鋼協会バイオフィルムと鉄鋼材料との相互作用研究会成果
報告書 (主査: 佐藤嘉洋), (2011).
論文 (共著) H. Kawakami, H. Nishikubo, K. Hirayama, S. Suzuki, Y. Sato, Y. Kikuchi,
『Effects of NaOCl aqueous solutions and ethyl alcohol solutions on removing
protein surface contaminant and recovering antibacterial activities of a
copper-alloyed stainless steel』 Biocontrol Science, 20 (2015) 193-198.
論文 (共著) 鈴木聡, 宮楠克久, 佐藤嘉洋, 菊地靖志, 川上洋司, 『Cu含有ステン
レス鋼の抗菌性』鉄と鋼, 100 (2014), 1021-1028
論文 (共著) H. Kawakami, T. Hayashi, H. Nishikubo, A. Morikawa, S. Suzuki, Y. Sato,
Y. Kikuchi, 『Effects of surface contamination and hypochlorite wipe cleaning
on antibacterial activity of a copper alloyed antibacterial stainless steel』
Biocontrol Science, 19 (2014), 73-78.
論文 (共著) H. Kawakami, T. Araki, Y. Sato, Y. Kikuchi 『Field tests of microbiologically
influenced corrosion of type 304 stainless steels: effects of seasonal change in

- bacterial consortia and chloride concentration』 *The 16th International Congress on Marine Corrosion and Fouling*, Seattle, USA, (2012) .
- 論文 (共著) Y. Miyano, K. kunihiro, S. Kurissery, N. Kanavillil, Y. Sato and Y. Kikuchi, 『Antibacterial properties of nine pure metals: a laboratory study using *Staphylococcus aureus* and *Escherichia coli*』 *Biofouling*, 26 (2010),851-858.
- 論文 (共著) H. Kawakami, K.Kittaka, Y. Sato and Y. Kikuchi 『Bacterial adhesion and initiation of biofilms on the surface of copper containing stainless steel』 *ISIJ International*, 50 (2010) , 133-138.
- 論文 (共著) 宮野泰征,小山訓裕,佐藤嘉洋,菊地靖志 『銅および銅合金の抗菌性評価』 *銅と銅合金*, 48 (2009), 290-299.

大阪市立大学医学研究院長、大学院医学研究科長・医学部長 略歴

- 1 氏 名 大畑 建治 (おおはた けんじ)
- 2 年 齢 62 歳
- 3 専門分野 脳神経外科学
- 4 任 期 2 年間 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (医学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 大阪市立大学大学院医学研究科 博士課程 (外科系専攻) 修了
- 7 職 歴 昭和 62 年 4 月 大阪市立大学医学部 助手
昭和 63 年 7 月 ヴァージニア医科大学 研究員
平成 2 年 8 月 マーブルグ大学・学術技術病院
(フルダ市民病院) 臨床研修医
平成 3 年 6 月 ヴァージニア医科大学 助教
平成 3 年 7 月 大阪市立大学医学部 助手
平成 4 年 4 月 大阪市立大学医学部 講師
平成 11 年 4 月 大阪市立大学医学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学医学部・大学院医学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院医学研究科・医学部 助教授
平成 18 年 4 月 大阪市立大学大学院医学研究科 教授
平成 28 年 4 月～ 大阪市立大学医学研究院長、大学院
医学研究科長・医学部長
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (共著) Surgical anatomy of the skull base、三輪書店、1966 年
著書 (共著) 手術のための脳局所解剖学、中外医学社、2008 年
論文 (共著) ” Petroclival meningiomas resected via a combined transpetrosal approach:
surgical outcomes in 60 cases and a new scoring system for clinical
evaluation.” J Neurosurg. 122, 373-80、2015 年
論文 (共著) “Staged 'intentional' bridging vein ligation: a safe strategy in gaining wide
access to skull base tumors.” Acta Neurochir (Wien), 156, 671-679、2014 年
論文 (共著) ” sLORETA-qm for interictal MEG epileptic spike analysis: comparison of
location and quantity with equivalent dipole estimation. “Clin Neurophysiol.
123, 1496-501、2012 年

大阪市立大学看護学研究院長、大学院看護学研究科長 略歴

- 1 氏 名 松田 光信 (まつだ みつのおぶ)
- 2 年 齢 49 歳
- 3 専門分野 精神看護学
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (看護学) (聖路加看護大学)
- 6 最終学歴 聖路加看護大学大学院看護学研究科看護学専攻
博士後期課程修了
- 7 職 歴 平成 3 年 4 月 財団法人療導協会西山病院 看護師
平成 4 年 7 月 財団法人療導協会西山病院 看護師・教育委員
平成 7 年 4 月 社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院
看護師
平成 9 年 4 月 滋賀県立大学看護短期大学部 助手
平成 12 年 4 月 岐阜県立看護大学看護学部 講師
平成 16 年 4 月 福井大学医学部 助教授
平成 20 年 4 月 神戸常盤大学保健科学部 教授
平成 26 年 4 月～大阪市立大学大学院看護学研究科・医学部 教授
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (共著) 『看護実践のための根拠がわかる精神看護技術』メヂカルフレンド社、2015 年
著書 (編著) 『実践能力を磨く看護研究～精神看護学対応～』金芳堂、2009 年
著書 (単著) 『看護師版[統合失調症患者]心理教育プログラムの基礎・実践・理論～看護実践研究、質的・量的研究の成果～』金芳堂、2008 年
論文 (共著) 「Effects of the nursing psychoeducation program on the acceptance of medication and condition-specific knowledge of patients with schizophrenia」Arch Psychiatr Nurs., 2016 年
論文 (共著) 「Development and Evaluation of a Psychoeducation Practitioner Training Program」Arch Psychiatr Nurs., 2015 年
論文 (共著) 「統合失調症患者の服薬意識尺度の開発」精神医学、2012 年
論文 (単著) 「心理教育を受けた統合失調症患者の「服薬の受け止め」」日本看護研究学会雑誌、2008 年
論文 (共著) 「造血細胞移植を受けた A さんのライフヒストリー ～新生自己の創出～」日本看護科学会誌、2006 年

大阪市立大学生活科学研究院長、大学院生活科学研究科長・生活科学部長 略歴

- 1 氏 名 永村 一雄 (えむら かずお)
- 2 年 齢 59 歳
- 3 専門分野 居住環境学講座 居住環境工学分野
- 4 任 期 2 年間 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (工学) (東京理科大学)
- 6 最終学歴 東京理科大学理工学部 卒業
- 7 職 歴 昭和 55 年 4 月 東京理科大学理工学部 助手
昭和 59 年 4 月 金沢工業大学工学部 助手
平成 1 年 10 月 大阪市立大学生活科学部 講師
平成 9 年 4 月 大阪市立大学生活科学部 助教授
平成 12 年 4 月 大阪市立大学生活科学部 教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学生活科学部・大学院生活科学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院生活科学科・生活科学部 教授
平成 15 年 4 月 大阪市住宅局営繕部 参事 (兼務:平成 17 年 3 月まで)
平成 26 年 4 月 大阪市立大学大学院生活科学研究科副研究科長・
生活科学部副学部長
平成 26 年 4 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 28 年 4 月～ 大阪市立大学生活科学研究院長、大学院生活科学
研究科長・生活科学部長
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (共著) 『拡張アメダス気象データ』丸善、2000 年
著書 (分担執筆) 『都市・建築空間の科学』技報堂出版、2002 年
著書 (分担執筆) 『人と環境』コロナ社、2002 年
論文 (共著) 「Geometrical-optics analysis of reflective glass beads applied to building coatings」 Solar Energy, Vol.122, pp.997-1010, 2015
論文 (共著) 「Development of a retro-reflective material as building coating and evaluation on albedo of urban canyons and building heat loads」 Energy and Buildings, Vol.103, pp.107-117, 2015
論文 (共著) 「A method to measure retro-reflectance and durability of retro-reflective materials for building outer walls」 Journal of Building Physics, Vol.38, pp.500-516, 2014

大阪市立大学大学院経営学研究科長・商学部長 略歴

- 1 氏 名 向山 敦夫 (むこやま あつお)
- 2 年 齢 57 歳
- 3 専門分野 経営分析論
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (経営学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 大阪市立大学大学院経営学研究科 博士課程修了
- 7 職 歴 昭和 62 年 4 月 ・愛媛大学法文学部 専任講師
平成 元年 10 月 ・愛媛大学法文学部 助教授
平成 3 年 10 月 ・岡山大学経済学部 助教授
平成 9 年 4 月 ・大阪市立大学商学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学商学部・大学院経営学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院経営学研究科・商学部 助教授
平成 16 年 4 月 大阪市立大学大学院経営学研究科・商学部 教授
平成 20 年 4 月
～平成 21 年 3 月 大阪市立大学大学院経営学研究科副研究科長・
商学部副学部長
平成 21 年 4 月
～平成 22 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 25 年 4 月
～平成 26 年 3 月 大阪市立大学大学院経営学研究科副研究科長・
商学部副学部長
平成 26 年 4 月
～平成 27 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
 - 著書 (単著) 『社会環境会計論 ―社会と地球環境への会計アプローチ』白桃書房、
2003 年
 - 論文 (単著) 「統合報告と CSR 情報開示との位置関係」『会計』第 187 巻第 1 号、83-
96 頁、2015 年
 - 論文 (単著) 「『国際統合報告フレームワーク』の論点と経営分析への影響」『年報経営
分析研究』第 31 号、54-62 頁、2015 年
 - 論文 (単著) 「持続可能性からみた水道事業経営 ―経済・安全・環境のバランス―」
『都市問題研究』第 60 巻第 7 号、30-45 頁、2008 年
 - 論文 (単著) 「CSR の数量化と測定方法」『企業会計』第 56 巻第 9 号、35-41 頁、
2004 年

大阪市立大学大学院経済学研究科長・経済学部長 略歴

- 1 氏 名 中村 健吾 (なかむら けんご)
- 2 年 齢 53 歳
- 3 専門分野 社会思想史
- 4 任 期 2 年間 (平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)
- 5 学 位 博士 (文学) (神戸大学)
- 6 最終学歴 神戸大学大学院文化学研究科 博士課程修了
- 7 職 歴 平成 5 年 4 月 大阪市立大学経済学部 助教授
平成 13 年 4 月 大阪市立大学経済学部・大学院経済学研究科 助教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院経済学研究科・経済学部 助教授
平成 17 年 4 月 大阪市立大学大学院経済学研究科・経済学部 教授
平成 20 年 4 月
～平成 21 年 3 月 大阪市立大学大学院経済学研究科副研究科長・
経済学部副学部長
平成 21 年 4 月
～平成 22 年 3 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
現在に至る
- 8 主な業績 (著書・論文)
著書 (共編著) 『欧米のホームレス問題 (上) (下)』法律文化社、2003 - 04 年
著書 (単著) 『欧州統合と近代国家の変容』昭和堂、2005 年
著書 (編著) 『古典から読み解く社会思想史』ミネルヴァ書房、2009 年
著書 (共編著) 『21 世紀のヨーロッパ福祉レジーム』糺の森書房、2012 年
著書 (共編著) 『ユーロ危機と欧州福祉レジームの変容』2015 年
論文 (単著) 「人間の尊厳と人権」『経済学雑誌』116 巻 3 号、2015 年

大阪市立大学大学院創造都市研究科長 略歴

- 1 氏 名 有賀 敏之 (あるが としゆき)
- 2 年 齢 56 歳
- 3 専門分野 都市ビジネス専攻 アジア・ビジネス研究分野
- 4 任 期 2 年間 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (経済学) (京都大学)
- 6 最終学歴 京都大学経済学研究科 博士後期課程修了
- 7 職 歴 平成 11 年 6 月 筑波大学社会科学系 助教授
平成 13 年 4 月 名古屋学院大学商学部 助教授
平成 18 年 4 月 名古屋学院大学商学部 教授
平成 25 年 4 月 大阪市立大学大学院創造都市研究科 教授
平成 27 年 4 月 大阪市立大学社会科学系研究院・
大学院創造都市研究科副研究科長
平成 27 年 4 月 大阪市立大学社会科学系研究院研究倫理担当委員
平成 27 年 4 月 大阪市立大学教育研究評議会評議員
平成 28 年 4 月 大阪市立大学社会科学系研究院・
大学院創造都市研究科長
現在に至る
- 8 主な業績
著書 (単著) 『グローバリゼーションの政治経済学』同文館出版 (1999 年)
著書 (単著) 『グローバル企業再編』同文館出版 (2007 年)
著書 (単著) 『中国日系企業の産業集積』同文館出版 (2012 年)

大阪市立大学医学部附属病院長 略歴

- 1 氏 名 平川 弘聖 (ひらかわ こうせい)
- 2 年 齢 66 歳
- 3 専門分野 腫瘍外科学
- 4 任 期 2 年間 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)
- 5 学 位 博士 (医学) (大阪市立大学)
- 6 最終学歴 大阪市立大学大学院医学研究科 修了
- 7 職 歴
昭和 56 年 4 月 大阪市環境保健局十三市民病院 医師
昭和 58 年 8 月 カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部
リサーチフェロー
昭和 60 年 8 月 医療法人行岡医学研究会外科 医員
昭和 61 年 4 月 大阪市立大学医学部 助手
平成 4 年 1 月 大阪市立大学医学部 講師
平成 10 年 4 月 大阪市立大学医学部 教授
平成 10 年 4 月 大阪市立大学医学部附属病院第一外科診療科
部長
平成 11 年 7 月
～平成 12 年 3 月 大阪市立大学医学部附属病院救急部長兼務
平成 12 年 4 月
～平成 16 年 6 月 大阪市立大学医学部附属病院中央手術部長兼務
平成 13 年 4 月 大阪市立大学医学部・大学院医学研究科 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学大学院医学研究科・医学部 教授
平成 14 年 4 月 大阪市立大学医学部附属病院副院長兼第一外科
部長、中央手術部長
平成 14 年 5 月 大阪市立大学医学部附属病院輸血部長兼務
平成 19 年 4 月 大阪市立大学医学部附属病院消化器外科部長
兼務
平成 19 年 4 月 大阪市立大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科
部長兼務
平成 19 年 4 月
～平成 20 年 9 月 大阪市立大学医学部附属病院化学療法センター
長兼務
平成 28 年 4 月 大阪市立大学医学部附属病院長
平成 29 年 1 月～ 大阪市立大学理事兼務
現在に至る

8 主な業績（著書・論文）

- 著書（編集） 『膵癌とモノクローナル抗体 SPan-1』 国際医書出版、1991年
- 著書（編集） 『やさしい胃の手術後の自己管理』 医薬ジャーナル社、2000年
- 著書（分担執筆） 『標準外科学（「老人外科」）』 医学書院、2007年
- 著書（分担執筆） 『スキルス胃癌』 医薬ジャーナル社、2010年
- 論文（共著） 『Tumor Angiogenesis as a Predictor of Recurrence in Gastric Carcinoma』 *Journal of Clinical Oncology*, Vol 13, No 2 pp 477-481,1995
- 論文（共著） 『Keratinocyte growth factor produced by gastric fibroblasts specifically stimulates proliferation of cancer cells from scirrhous gastric carcinoma』 *Cancer Research* 63: 8848-8852,2003
- 論文（共著） 『A novel molecular targeting compound as K-sam II/FGFR2 phosphorylation inhibitor, Ki23057, for scirrhous gastric cancer 』 *Gastroenterology* 131: 1530-1541,2006
- 論文（共著） 『Multipeptide immune response to cancer vaccine IMA901 after single-dose cyclophosphamide associates with longer patient survival』 *Nature Medicine* 18: 1254-1261,2012